

毎週日曜発行
2022 3/27

こども新聞
週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

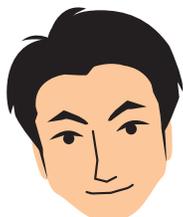


東松島市野蒜地区に住
藤善文さん(87)とい
う人がいます。今回は佐藤
さんと、東日本大震災で
多くの人の命を救った
「佐藤山」のお話です。
60年以上昔、1960
年5月24日の早朝、太平
洋沿岸部を大津波が襲い
ました。日本から1万1
000キロ離れた地球の
裏側からやって来たチリ
地震津波でした。
石巻市や塩釜市で被害

おりはらアドバイザーの

学ぼう防災

22



きょうのテーマ



佐藤山の登山口に設置した手作り看板の前で、見学者を出迎える佐藤さん



災害への対策 終わりなし

津波避難場所自ら造る

を目的の当たりしに佐藤
さんは、津波の恐ろしさ
を知りました。「同じよ
うな津波が野蒜にも来た
ら…。近くに避難できる
高台がないと危ない」と
考えました。
時がたち、60歳になっ
た佐藤さんは自分で津波
避難場所を造る決心をし
ます。99年、経営してい
たタクシー会社を子ども
に託し、取り掛かりまし
た。

海岸から約700m、
自宅に近い高さ30mほど
の小高い丘を、自分のお
金で買いました。1人で
草を刈り、丘に登る階段
を造り、資材を運んで、
頂上には海の見える展
望台やあずまや、小屋を
造りました。プロパンガ
スやコンロ、ストーブ、
水や食料も備えました。
「津波なんてここまで
来るわけない」。そう言
う人が何人もいました

が、佐藤さんは気にしま
せんでした。誰の手も借
りず、造り続けて4年が
過ぎたころ、佐藤山は完
成しました。
それから数年後、津波
がやって来ます。201
1年3月11日午後2時46
分、東北地方太平洋沖で
発生した超巨大地震が
起こした大津波は、野蒜
地区にも押し寄せまし
た。多くの命が奪われ
た。佐藤山は佐藤さんを
はじめ避難した70人以上
の命を守りました。
今では敬意を込め「お

さとうやま」と呼ばれ、
これを題材に絵本や紙芝
居も作られています。
佐藤さんは言います。
「『何百年に一度の災害
だった』と聞き、『生き
ている間にはもう来な
い』と言う人もいます。
しかし、これで終わり
ということはありません。
『来ない』と言われたこ
の地にも、津波は来まし
た。震災を知らない子ど
もたちにも、伝えていか
なければなりません」
(仙台市防災・減災アド
バイザー・折腹久直)

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

今週の注目ニュース

◇4月1日(金) プラごみ削減義務化スタート
プラスチックごみ削減を目的とした新しい法律が施
行されるよ。スプーンやストローなど12品を年5トン以
上提供するスーパーやコンビニエンスストアなどは、
ごみの量を減らす義務を負うんだ。

きょうの紙面

- 2面 ニコ☆プチ
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー